

2019 年 1 月 31 日(木) 新宿紀伊國屋本店にて、 光文社古典新訳文庫Readers Club 読書会(Readin Session)



鈴木芳子さん

#49 として、創刊編集長の駒井稔氏の司会で、『幸福について』（ショーペンハウアー著、鈴木芳子訳、光文社古典新訳文庫）に関する講演会を行いました。講演後、「認識とは何か？」「ショーペンハウアーの思想は仏教思想に通じると思うが、彼はこの時代にどのようにして東洋哲学に達したのか」etc.

興味深い質問が活発に出て、有意義なひとときでした。

関東支部 鈴木芳子

紀伊國屋書店 Kinoppy & 光文社古典新訳文庫読書会#49

「ショーペンハウアー『幸福について』に、 シチメンドウな世の中を生き抜く知恵を学ぶ」 鈴木芳子さんを迎えて

紀伊國屋書店新宿本店で 2019 年 1 月 31 日(木)開催

哲学者ショーペンハウアーの『読書について』はそのマッチョな読書観が話題となり、光文社古典新訳文庫のベストセラーとなりました。今回はそのショーペンハウアーの第2弾。哲学者みずからの体験をもとに教えを授ける『幸福について』です。「人は幸福になるために生きている」という考え自体が人間生来の偽り、迷妄であると断じる「逆転の発想」がまずユニークです。

自分と他人を比較し、他人の評価をたえず気にすることが不幸の元凶だ。名誉や地位、財産に惑わされてはいけない。くだらない社交生活をするよりは孤独を愛せ。人を妬んではいけない……。つまり、自分が本来持っているものを大事にし、育むことが幸せへの第一の鍵だと論じます。

「つらいとき、悲しいとき、人間関係に悩んだとき、失意のどん底にあるとき、現実世界がまさに最悪であるとき、生きのびる力を与えてくれる言葉、本当にそうだねと頷き、一服の清涼剤となるような言葉」を、本書『幸福について』に見つけてみませんか？ 新訳をなさった鈴木芳子さんをお迎えして、この作品の魅力について語って頂きます！

(聞き手：光文社古典新訳文庫・創刊編集長 駒井稔)